

特集

企画 | 中野弘康 (大船中央病院 内科)

消化器診療“虎の巻”

あなたの切実なギモンにズバリ答えます!

[消化管]

Q1 逆流性食道炎に対するPPIはどの時点で中止?

| 青島周一

Q2 抗血小板薬と一緒に内服しているPPIは本当に必要? | 西野徳之、他

Q3 漫然としたPPI投与は御法度? 本当にCDIのリスクは上がる? | 宮垣亜紀

Q4 肺炎や尿路感染で入院した高齢患者。薬手帳に内服理由不明のPPIが入っていて、消化性潰瘍の既往がなければoffしてよい? | 青島周一

Q5 *Helicobacter pylori* はどう診断するの? *pylori*の感染経路は井戸水だけ? | 田中由佳里、他

Q6 *Helicobacter pylori* 除菌後の定期的な内視鏡フォローはいつまで行うの? | 宮垣亜紀

Q7 心窩部痛で汎用される“痛み止め=胃薬”、本当に必要? | 西野徳之、他

Q8 漫然と処方される“胃粘膜保護薬(防御因子増強薬)の数々”、本当に必要? | 小林健二

Q9 胃アニサキス症は内視鏡で摘出がマスト? 抗アレルギー薬の点滴のみで経過を見れないか? | 西野徳之、他

Q10 感染性腸炎に抗菌薬は本当に必要? | 宮垣亜紀

Q11 CDIのリスクとなる抗菌薬はいつまでさかのぼるの? | 青島周一

Q12 大腸ポリープ摘除後に大腸内視鏡をフォローするタイミングは? | 西野徳之、他

Q13 高齢の便秘患者。すでに3つ以上便秘薬を処方中だが患者がさらにほしいと言って困っていま

す。| 田中由佳里

Q14 1か月以上下痢が続いている患者。どうアプローチしたらよい? | 小林健二

Q15 健診で測定される腫瘍マーカー。臨床的な意義は? | 小林健二

[肝胆脾]

Q16 健診で指摘された肝障害。どう対応したらよい? | 重福隆太

Q17 ウルソ®(肝庇護薬)はどんな状況で処方したらよいの? | 中野弘康

Q18 IPMNの経過観察はどこまで必要なの? | 野々垣浩二、他

Q19 アルコール性脂肪肝でフォロー中、経過観察で肝障害持続、断酒進まず。よい方法は? | 重福隆太

Q20 急性胆嚢炎。手術目的に外科へ紹介する適切なタイミングは? | 中原一有

Q21 胆摘後症候群への適切な対応は? | 野々垣浩二、他

Q22 非アルコール性脂肪肝(NAFD)が疑われる患者。専門医に紹介するタイミングは? | 黒崎雅之、他

Q23 たまたま採血したらHBs抗原陽性。どのタイミングで肝臓専門医に紹介したらよいの? | 奥瀬千晃

Q24 C型肝炎の薬はどこまで進歩したの? どの患者まで適応が拡大している? | 黒崎雅之、他

Q25 健診で胆石を指摘された。手術の適応とタイミングは? | 中原一有

Q26 他院で漠然とした慢性膵炎と診断された患者を診る時に、何に注意したらよい? | 野々垣浩二、他

after NEXT...

5月号

臨床医のための
進化するアウトプット!
学術論文からオンライン勉強法・SNSまで

6月号

この診断で決まり! High Yieldな症候たち
見逃すな! キラリと光るその病歴&所見

7月号

新時代の「在宅医療」
先進的プラクティスと最新テクノロジー

※特集名は変更になる場合がございます。

編集顧問

高久 史磨 | 地域医療振興協会会長
福井 次矢 | 聖路加国際病院院長
伴 信太郎 | 愛知医科大学医学部シミュレーションセンター長
伊藤 澄信 | 国立病院機構本部総合研究センター長
松村 真司 | 松村医院院長

編集委員

藤沼 康樹 | 医療福祉生協連家庭医療学開発センター
徳田 安春 | 臨床研修病院群プロジェクト群星沖縄
山中 克郎 | 福島県立医科大学会津医療センター
片岡 仁美 | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座

編集アドバイザー

朝倉健太郎 | 生坂 政臣 | 石橋 幸滋 | 井村 洋
江村 正 | 大滝 純司 | 大生 定義 | 岡田 唯男
川越 正平 | 川畑 雅照 | 木川 和彦 | 岸田 直樹
北川 泉 | 北村 大 | 木戸 友幸 | 木村 琢磨
草場 鉄周 | 小泉 俊三 | 小林 祥泰 | 酒見 英太
佐藤 元美 | 高木 誠 | 仲里 信彦 | 名郷 直樹
野村 英樹 | 八田 和大 | 原 朋邦 | 福本 陽平
藤本 卓司 | 前沢 政次 | 前野 哲博 | 松村 理司
箕輪 良行 | 本村 和久 | 森田 潤 | 安田 英己
矢部 正浩 | 山畑 佳篤 | 山本 和利 | 山本 亮

次号予告は
前のページ

「参加者募集」情報を掲載します。

「総合診療」に関連する学会・研究会、また公開型の勉強会などの情報を無料で掲載いたします。開催期日や募集期限の3カ月前を目安として、お気軽に編集室までご連絡ください。

年間購読がお得です。

お得な年間購読や電子版の詳細は、p.403・404をご参照ください。

2021 年年間購読料 (税込、送料弊社負担)

【冊子版または電子版】

通常 32,472 円 (冊子版のみ)

個人特別割引 28,248 円

医学生・初期研修医割引 22,044 円

【冊子+電子版】

個人特別割引 33,748 円

医学生・初期研修医割引 27,544 円

販売・PR 部直通

☎ (03) 3817-5659 FAX (03) 3815-7804

振替口座 00170-9-96693 番

ご意見・ご感想をお寄せください。

今月の『総合診療』は、いかがでしたか？

アンケート (p.380) を FAX またはメールにてお送りください。抽選で図書カード 3,000 円分、または「#医学書院の新刊」(p.378 他) で紹介した書籍を進呈します。ご投稿もお待ちしております。

📍最新情報ははこちらから

▶ Facebook ページ『総合診療』

<https://www.facebook.com/igakushoin.jim>

▶ 『総合診療』公式ホームページ

<https://www.igaku-shoin.co.jp/journal/429>



『総合診療』 第31巻 第3号

発行 2021年3月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価 2,750 円 (本体 2,500 円 + 税 10%)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

<https://www.igaku-shoin.co.jp>

担当 杉本・野中・竹谷

☎ (03)3817-5716 FAX (03)3815-7802

sogoshinryo@igaku-shoin.co.jp

印刷所 横山印刷株式会社 ☎ (03)3622-6161

広告申込先 株式会社 医学書院 ☎ (03)3817-5696

表紙・本文デザイン DESIGN WORKSHOP JIN

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2021, Printed in Japan.

●本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。

●本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】 (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

●「総合診療」は、株式会社医学書院の登録商標です。